

川崎市立河原町保育園



福祉サービス第三者評価結果報告書

報告日 平成 22 年 3 月 31 日

福祉サービス第三者評価機関
株式会社 commons 21 研究所

福祉サービス第三者評価結果報告書

目 次

1 . かながわ福祉サービス第三者評価推進機構 福祉サービス第三者評価結果報告書	1
2 . 福祉サービス第三者評価結果報告書 川崎市福祉サービス第三者評価結果総括表	8
大項目評価結果	9
中項目評価結果	13
利用者家族アンケートの調査結果	18
事業者からの意見	23
3 . 当社オリジナル報告書 家族アンケート 各データグラフ (非公表)	24
家族アンケート施設への要望 (非公表)	25
評価結果集計表 (非公表)	36
自己評価 / 第三者評価 比較票 (非公表)	35 ~ 67

川崎市福祉サービス第三者評価結果総括表

1 対象施設及び実施機関

	項目	保育所
1	対象施設名	川崎市立河原町保育園
2	運営主体	川崎市
3	住所	川崎市幸区河原町1
4	定員	210名
5	評価機関名	株式会社コモンズ21研究所
6	評価に要した期間	平成21年12月～平成22年3月
7	報告書作成日	平成22年3月31日

2 評価方法

	種別	実施期間(期日)	
1	事業者自己評価方法	平成21年12月22日～平成22年1月21日	全職員が自己評価を行い、その結果をもとにリーダー会で検討しまとめをした。その後a評価になるように取り組みについて全職員で見直しを行なった後、再度の自己評価を通してマニュアルなど周知徹底した。
2	評価調査員による調査方法	平成22年2月22日、24日	登降園の状況や、延長保育、日常保育内容の観察や掲示物の確認、書類の閲覧、また園長、主任をはじめ、中堅職員・非常勤職員・新人職員各1名、乳児のリーダー、幼児のリーダー、看護師、栄養士のヒアリングを行った。
3	利用者(家族)アンケート実施方法	平成21年12月14日～22日	アンケート用紙を保護者に配付し、封入したアンケートを回収箱に投函してもらった。
4	利用者本人調査方法		

	大項目	評価	特に優れている事項	今後取り組みが望まれる事項
	人権への配慮	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ まず大人が子どもの話をじっくり聞いてあげること、子どもも自分の思いや意見を大人にはっきり言うことができる、と考え取り組んでいます。また、自分の気持ちが受け止められていることで、自分も他の子どもの気持ちや発言を受け止められるようになる、という方針で支援しています。 ・ 外国籍の保護者の状況に合わせて、お便りや連絡などはローマ字を使ったり、ルビをふったり、できるだけ実物を見せたりして、意思疎通の仕方を工夫しています。また、就学相談などは担当が付き添って行って支援しています。 ・ 園内の子どもたちの状況は毎日詳細に把握しています。児童相談所、療育センター、主任児童委員などと連携し、定期的なケースカンファレンスを行い迅速に対応できる体制を整えています。 ・ 玄関の図書コーナーにはカーペット、テーブルと座布団が敷かれ、書棚の上には可憐な花の鉢植えや生花があります。保育士が紙粘土で製作した動物は絵ほんのストーリーを巧みに表現しており、壁飾りとしてかけられ、ホットスするスペースになっています。 ・ 園の敷地内に小山があります。樹木が20～30本あり、子ども達は冬場にはフキノトウや水仙など、春になるとたんぽぽやいぬふぐりなどの草花・虫を見つけ、自然と触れ合う機会を身近に持っています。また園内では亀や金魚を飼育し、当番が順番で餌をあげています。園庭のみかんの木にいた青虫を蝶にかえすなど、子ども達は広い園庭や近隣の公園の自然の中で育まれています。 	
	利用者の主体性・個性の尊重	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもの質問によく耳を傾け、何を求めているかを理解して適切に対応することを、乳児の段階で特に大切にしています。そのために、乳児クラスは複数の保育士と関わるのではなく、小集団にして、基本的に1人の担当がしっかり関わられるようにしています。 ・ 子どもの感性が活かされた表現活動ができるように工夫しています。年長児クラスでは、遠足に行った時に見た恐竜の印象が強く、夏祭りのおみこしを籠にしよう、ということになりました。長い籠を作って祭りで練り歩き、運動会では籠を持って太鼓に合わせて踊りました。更に発展して籠のお話し作りになり、6匹の籠の物語ができました。 ・ 子ども同士の関係を良くする方法は、子どもたちが共感できる体験をすることだと考えています。「楽しかったね」「おもしろかったね」という気持ちを共にする活動をたくさん経験してもらえるように計画を立てています。乳児では、子どもたちに否定的な言葉を使わず、子どもの良いところを皆の前で誉めたりすることで、互いの関係を良くしていくようにしています。 ・ 各クラスの入り口に連絡メモとそれを受け取る箱が用意されており、送迎の際にクラス担当と話す機会がない場合でも、クラス担当と保護者のコミュニケーションをとっており、イベントに参加できなかった場合に後日同じイベントを再度行い保護者に参加してもらっています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児の個人面談は希望に応じて行っていますが、今後は更に子育ての不安や悩みを気楽に話せるような雰囲気づくりや保護者への声かけ等の積極的な取り組みが期待されます。

	大項目	評価	特に優れている事項	今後取り組みが望まれる事項
	サービス管理システムの確立	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第三者による苦情解決の連絡先を園の入り口に掲示し保護者の方々にわかりやすくしてあります。直接保育課に持ち込まれた苦情も職員全体で話し合い、保護者全員に回答を返しています。 ・ 川崎市最大園の園長として外の仕事も多い中、次席と連携し業務運営や課題解決、職員研修など各職員の質の向上に配慮しており、組織的に指導力を発揮しています。 ・ 職員の役割分担のため分担表を作り、保護者にも明確に示し、業務の迅速な対応が図れるようにしています。園独自の取り組みとして人事評価シートだけではなく、職員からアンケートをとり面談し職員たちの希望、悩みを聞き課題については一緒に考えています。 ・ 各年齢で計画した年間指導計画は、年齢のつながりや子どもの実態を考慮して確認しあいながら作成しています。期ごとに反省、見直しを行い、見直し箇所は赤ペンで記されており、次期計画に反映させています ・ 各年齢のクラスでは週末及び月末には週指導案及び月間指導計画の評価・見直しを行い、次週・次月の計画を立てています。それを乳児会議・幼児会議で持ち寄り調整を図り各クラスに伝達され実施体制に入っています。 ・ ケース会議を毎月開き、子どもの状況や配慮について話し合っています。また、発達コーディネーター研修を受けた職員を中心に各クラスから職員が参加し、障害児や配慮を要する子どもについての検討が行われ、ケース会議記録に記載しています。 	
	危機管理体制の確立	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ マニュアルなど記載内容はすべて園独自のものが作成されています。中でも緊急性を要するマニュアルはすべて見やすくラミネートされ、各クラスに用意されていました。 ・ 火災避難訓練8回、地震避難訓練5回、風水害避難訓練1回が行われており、実施記録を確認しました。防犯訓練は実際の侵入を想定したもので、迫力ある研修がされたことを確認しました。 ・ 建物の経年変化で老朽化してしまっているのは否めませんが、トイレ、水周りなどは用務員の努力により清潔に保たれています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電子錠の設備はありますが、更なる不審者対応の工夫が望まれるところです。

	大項目	評価	特に優れている事項	今後取り組みが望まれる事項
	地域との交流・連携	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高校生のインターンシップ、中学生の体験学習などを取り入れ、次世代育成を積極的に行っています。また、福祉系の実習生以外に川崎市医師会の看護学校からの実習生を受け入れる等、地域の社会資源として医療人材育成にも寄与しています。 ・ 保健福祉センターには気になる子どもが健診を受ける際に事前に保健所の保健師に連絡を入れ、医師の診断を受けられるように手配しています。その診察結果を直接保健師からフィードバックしてもらうようにし、それに基づき保健師と相談しあえる体制をとっています。 ・ 子ども達の就学する小学校も10校と多いため、それぞれの小学校教諭に来園してもらい、保育体験をしてもらっています。また、小学校の授業参観に園側からも参加し、その後教諭たちと懇親会を持つなど綿密な連絡体制を組んでいます。 ・ 近隣住民、民生委員等を行事に招待し園の理解を深める努力をしています。 	
	運営上の透明性の確保と継続性	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育課程は保育理念「地域も含めた子どもたちの成長や家庭への援助を行い、成長の喜びを共感していく」(要約)や基本方針「子どもがいきいきと遊び、安心して預けられる、地域に開かれた保育園」(要約)を基本におき、地域の実態や保護者との連携を深めることを考慮し作成しています。 ・ 保育課程の作成については、各年齢会議で意見を出し合い、リーダー会議で調整し、全体会で確認しており、職員全員で作成しています。 ・ 明文化された理念、方針は園の入り口に見やすく掲載してあります。また、園庭開放(スーパーキッズ)に参加の外部の人たちにも園の案内を渡し、理念・方針を理解してもらう努力をしています。 ・ 普段の子ども達の姿がよくわかるように、その日に活動した写真がその日のうちに掲示されています。お迎えの保護者が日ごとの情報として受け取り、又これを話題にするなど、クラス担当と情報交換にも役立っています。 	
	職員の資質の向上	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各種定例会のみならず幼児会議、乳児会議それぞれ月に1回の会議には用務、看護師、栄養士も加わり、保育の質の向上や改善に向けて討議をしています ・ 研修計画に則り、個々の職員が専門性を高める研修に参加できるようにしています。 ・ 保育課程の策定にあたって職員同士で学びあったり、園内プロジェクトの中で学習するなど知識や技術を高めています。また、自主的意欲的に自らの研修ニーズを探り自己研修をしている多くの職員がいます ・ 川崎市人材育成基本計画に基づき、職員採用や人材育成を計画的に行っています。 ・ 年3回行われる人事評価シートに伴う面接で、職員の処遇や就業環境についての要望や提案を把握しています。更にプラスして園独自のアンケートを作成し、年度末に園長面談にて満足度・不安や要望・提案等を聞きとっています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育内容など園全体の自己評価について、職員参加で実施するとよいでしょう。

	大項目	評価	特に優れている事項	今後取り組みが望まれる事項
	サービスの実施内容	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新型インフルエンザなど感染症が発生した時は、掲示板に発生状況、近隣の状況、感染予防の実施内容などについて掲示し、保護者に注意を呼びかけています。 ・ 保護者と連携を密にし、栄養士が毎朝のミーティングで保護者と調整した献立に合わせた除去食を伝達し、間違いのないよう確認しています。食事時のすわる場所の工夫や、除去食のない時でも決まったトレイを使い誤食のないように徹底した配慮を行なっています。 ・ 食材は「地産地消」の考え方から、近隣商店から新鮮なものを購入しています。献立は季節の食材を取り入れた川崎市作成のメニューですが、年4回伝統行事である「ひな祭り」等に会食デーを行い、独自のメニューに変えて楽しい料理を提供しています。 ・ 病後、回復期の登園児に対し、保育士、看護師、栄養士が連携し、子どもの健康状況や年齢、月齢に合わせた配慮食等を提供しています。また、子どもの食事状況などを連絡しあう健康連絡カードや食事チェック表により、ご飯をお粥や軟食にするなど家庭との連携を図っています。 ・ 基本的な生活習慣は、子どもがやりたい時期にゆったり見守りながら、満足できるまで自分でやるようにして、出来ないところを介助して満足感を持てるよう配慮しています。 ・ 季節に応じた行事として、夏祭り、七夕、餅つき、獅子舞、節分、ひな祭りなどがあります。節分は年長クラスが鬼のはりこの面を作り、乳児のクラスに何人かずつ入り、乳児が豆を投げてぶつけると痛そうに逃げ回ったりします。子どもの発達に応じた行事としては、運動会のかっこでは3歳は直線走る、4歳はカーブを走る、5歳はバトンを持ってリレーにする、というように、発達に応じた遊びを行事に取り入れています。 ・ 保育ママとの連携保育を実施しています。連携保育では保育ママが子ども達を連れて園を訪問し、日ごろから子ども同士が顔見知りになるよう交流を図っています。保育ママの急用の際や休暇日等に、園で保育することが出来るよう対応可能な体制を整えています。 	

人権への配慮

中項目	評価	評価の理由(コメント)
利用者の権利の擁護	a	<ul style="list-style-type: none"> ・ まず大人が子どもの話をじっくり聞いてあげること、子ども自分の思いや意見を大人にはっきり言うことができる、と考え取り組んでいます。また、自分の気持ちが受け止められていることで、自分も他の子どもの気持ちや発言を受け止められるようになる、という方針で支援しています。 ・ 宗教上の理由で豚肉を食べない子どもについては、他の子どもに事情を説明します。子どもたちはそれを自然に受け止め、リクエストメニューをクラスで決める時には、その子と同じものを食べられるメニューを皆で考えるなど、互いを尊重する心が育っています。 ・ 外国籍の保護者の状況に合わせてお便りや連絡などはローマ字を使ったり、ルビをふったり、できるだけ実物を見せたりして、意思疎通の仕方を工夫しています。また、就学相談などは担任が付き添って行って支援しています。 ・ 懇談会で性差についての話を取り入れています。保育園では基本的に「ちゃん」と呼ぶこと、年長クラスでは「さん」と呼んでいることも知らせています。
プライバシーの保護	a	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個人情報に関するものはすべて事務所の奥の鍵の掛かる個所に保管され、職員にも個人情報管理の重大さを会議の度に話しています。 ・ 子どもの名前を書いた出席簿は表紙をつけ、必要時以外に露出を避ける配慮がなされています。散歩の際、帽子に書かれた名前が周りから読めないよう配慮しています。 ・ 写真の掲示など、個人情報の利用目的については保護者の了解を得、保護者全員の署名をもらっています。
身体拘束、体罰、虐待の防止への取り組み	a	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員は日ごろから保護者や子どもの様子に注視し、着替えの際に体の傷があるか、虫歯には要注意、欠席が多いなど登園状況等特に注意を要する点について全体会議で話し合い、虐待の予防や早期発見に努めています。 ・ 現場の保育士から担任、フリーの保育士や交代でいつもその子どもを見ている人達で相談し、リーダー、次席から園長に届くシステムになっています。 ・ 虐待を発見したり、疑わしい場合など、ケースによっては職員間で相談し、緊急を要する場合は直ぐに福祉保健センターや児童相談所へ通告する体制があり、また児童相談所、療育センター、主任児童委員などと連携し、定期的なケースカンファレンスを行い迅速に対応できる体制を整えています。
生活の場としての環境整備	a	<ul style="list-style-type: none"> ・ 園内の清掃については、保育室は毎日1回以上保育士が行い、廊下やトイレは用務員が毎日清掃し、清潔に保たれています。年1回父母会による園庭清掃活動が行われており、2～30人の参加があります。 ・ 玄関の図書コーナーには、カーペットやテーブル、座布団が敷かれ、書棚の上には可憐な花の鉢植えや生花があります。保育士が紙粘土で製作した動物は絵本のストーリーを巧みに表現しており、壁飾りとしてかけられ、ホッとするスペースになっています。 ・ 建物の構造上天井がドーム型になっており、声や音が反響しやすい状況にあり、保育士は心しながら保育を行っています。午睡時にも音楽はかけずに子守唄を静かに歌いながら寝かしつけていました。 ・ 園の敷地は広く、園舎の裏側には小山があります。樹木が20～30本あり、子ども達は冬場にはフキトウや水仙など、春になるとたんぽぽやいぬふぐりなどの草花・虫を見つけ、自然と触れ合う機会を身近に持っています。また園内では亀や金魚を飼育し、当番が順番で餌をあげています。園庭のみかんの木にいた青虫を蝶にかえすなど、子ども達は広い園庭や近隣の公園の自然の中で育まれています。

利用者の主体性・個別性の尊重

中項目	評価	
利用者満足度の向上への取り組み	a	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの質問によく耳を傾け、何を求めているかを理解して適切に対応することを、乳児の段階で特に大切にしています。そのために、乳児クラスは複数の保育士と関わるのではなく、小集団にして、基本的に1人の担任がしっかり関わられるようにしています。 子ども同士の関係を良くする方法は、子どもたちが共感できる体験をすることだと考えています。「楽しかったね」「おもしろかったね」という気持ちを共にする活動をたくさん経験してもらえるように計画を立てています。また、遊びの中で自分たちでやり方の工夫をしたり、頭を使ったプレーなどを編み出していくことでも、共感を生み出していています。乳児では、子どもたちに否定的な言葉を使わず、子どもの良いところを皆の前で誉めたりすることで、互いの関係を良くしていくようにしています。 園児が多いという特色を活かして、年齢を超えた子ども同士のかかわりを大切にしています。特に幼児では縦割りグループを作り、運動会でグループ別の踊りを披露したり、グループで食事をしたり、散歩に行ったりしています。朝夕は園庭でクラスを超えて遊んでいます。大きい子どもは自然に小さい子どもを思いやったり、手を引いてあげたりするようになっていきます。
利用者が意見を充分に言える体制	b	<ul style="list-style-type: none"> 4月の保育説明会で保護者に見学はいつでも自由に出来る事を説明しています。保育参観についてもいつでも出来る事を伝え、行事への参加も保護者全員に知れ渡っています。保育面談は乳児は全員行っており、幼児は行事の参観の折に面談しています。 行事に参加できなかった保護者には、後日保育内容の同じような取り組みに参加を呼びかけ、保育理解や子どもの成長の確認につなげています。個人面談の設定日は特別には設けていませんが、面談した際には「家庭支援と健康に関する経過記録」「個人面談記録」に記載しています。 連絡帳や送迎時の会話などを使い、子どもの生活状況について連携を図っています。個別面談は乳児には全員に行われていますが、幼児には希望に応じた取り組みとなっており、特別に個人面談の日の設定はされていません。家族アンケートからは、回数が少ない、土曜や日曜日など設定を変えて欲しいなどの要望が上がっています。 相談はいつでもできることになっていますが、相談を待つ姿勢ではなく、子育ての不安や悩みを気軽に話せるような雰囲気づくりや保護者からの運営全般についての意向を知るアンケートの積極的な実施など保護者の目線に立つ利用者サービスの向上に対する園からの積極的な取り組みが期待されます。
利用者の意見や意向への配慮	a	<ul style="list-style-type: none"> 日常的に保護者と接する場面で意見を聞く以外に、懇談会や保育への参加の機会を設けるなど、保護者の意見を聞くための取組を行い、その意向に配慮しています。 各クラスの入り口に連絡メモとそれを受け取る箱が用意されており、送迎の際にクラス担当と話す機会がない場合でも、クラス担当と保護者のコミュニケーションをとっており、イベントに参加できなかった場合に後日同じイベントを再度行い保護者に参加してもらっています。 要望・苦情の窓口や、苦情対応体制について、玄関入り口に「苦情受付ます」と掲示しいつでも連絡できるようわかりやすく明示しています。また、意見箱も目に付きにくい場所に設置され、他人に気づかれないよう投函することができます。

サービス管理システムの確立

中項目	評価	
経営における社会的責任	a	<ul style="list-style-type: none"> 社会福祉事業に従事するものとして守るべき方・規範・倫理については、機会あるごとに確認しています。保育士倫理要綱を全員が常に持ち見直すことを徹底しています。 第三者による苦情解決の連絡先を園の入り口に掲示し保護者の方々にはわかりやすくしてあります。直接保育課に持ち込まれた苦情も職員全体で話し合い、保護者全員に回答を返しています。
経営者のリーダーシップ	a	<ul style="list-style-type: none"> 川崎市最大園の園長として外の仕事も多い中、次席と連携し業務運営や課題解決、職員研修など各職員の質の向上に配慮しており、組織的に指導力を発揮しています。 職員の役割分担のため分担表を作り、保護者にも明確に示し、業務の迅速な対応が図れるようにしています。園独自の取り組みとして人事評価シートだけではなく、職員からアンケートをとり面談し職員たちの希望、悩みを聞き課題については一緒に検討しています。

中項目	評価	
サービスの質の向上に向けた取り組み	a	<ul style="list-style-type: none"> 各年齢のクラスで、週末及び月末に週指導案及び月間指導計画の評価・見直しを行い、次週・次月の計画を立てています。それを乳児会議・幼児会議で持ち寄って調整を図り、各クラスに伝達し実施体制に入る等、丁寧に行われています。 一人ひとりの子どもの記録には、児童票・健康記録表・健康診断・面接による生活記録・観察経過記録等があり、子どもの発達状況、生活状況等が詳細に記録されています。 ケース会議を毎月開き、子どもの状況や配慮について話し合っています。また、発達コーディネーター研修を受けた職員を中心に各クラスから職員が参加し、障害児や配慮を要する子どもについての検討が行われ、ケース会議記録に記載しています。 個別指導計画については、0歳児は4～8月まで作成され、その後は高月齢・低月齢・1年と、3グループでの作成となっていますが、0歳児後半期や配慮を要する子どもに対しては一人ひとりへの発達状況に応じた指導計画の策定をすると良いでしょう。 年間の研修に多くの職員が参加し、保育技術の研鑽に向けて取り組んでいますが、職員の参加により保育内容など園全体の取り組みを点検・評価する仕組みを作り、サービスの質の向上を図る事を期待します。
苦情解決のしくみの確立	a	<ul style="list-style-type: none"> 日常的に保護者と接する場面で意見を聞く以外に、懇談会や保育への参加の機会を設けるなど、保護者の意見を聞くための取組を行い、その意向に配慮しています。 各クラスの入り口に連絡メモとそれを受け取る箱が用意されており、送迎の際にクラス担当と話す機会がない場合でも、クラス担当と保護者のコミュニケーションをとっており、イベントに参加できなかった場合に後日同じイベントを再度行い保護者に参加してもらっています。 要望・苦情の窓口や、苦情対応体制について、玄関入り口に「苦情受付ます」と掲示し、いつでも連絡できるようわかりやすく明示しています。また、意見箱は人目に付きにくい場所に設置され、他人に気づかれないよう投函することができます。

危機管理体制の確立

中項目	評価	
安全管理・安全の確保	a	<ul style="list-style-type: none"> マニュアルなど記載内容はすべて園独自のものが作成されています。中でも緊急性を要するマニュアルはすべて見やすくラミネートされ、各クラスに用意されていました。 火災避難訓練8回、地震避難訓練5回、風水害避難訓練1回が行われており、実施記録を確認しました。防犯訓練は実際の侵入を想定したもので、迫力ある研修がされたことを確認しました。 建物は経年劣化していますが、用務員や職員の日々の努力により、園内衛生管理は行きとどいていました。トイレ水周りの衛生管理について、保護者から不満がでていますので、今後、説明し理解を得ていくと良いでしょう。 電子錠の設備はありますが、更なる不審者対応の工夫が望まれるところです。

地域との交流・連携

中項目	評価	
地域住民やボランティアの交流の場の提供	a	<ul style="list-style-type: none"> 高校生のインターンシップ、中学生の体験学習などを取り入れ、次世代育成を積極的に行っています。また、福祉系の実習生以外に川崎市医師会の看護学校からの実習生を受け入れ、地域の社会資源としての園の役割を果たしています。 これらの実習生を受け入れることを園だより等で保護者に知らせ、実際の実習時は保護者の目に触れる園の入り口に実習生の紹介カードを掲示し、子ども達には担当クラスでよく説明をしています。 高校生のインターンシップ受け入れ際に学校側で用意した誓約書には、個人情報保護についての記載がありませんでした。今後、園として、実習生等受け入れに際し、守秘義務について注意事項等に明文化すると良いでしょう。

中項目	評価	
関係機関との相談・連携	a	<ul style="list-style-type: none"> 保健福祉センターには気になる子どもが健診を受ける際に、事前に保健所の保健師に連絡を入れ、医師の診断を受けられるように手配しています。その診察結果を直接保健師からフィードバックしてもらうようにし、それに基づき保健師と相談しあえる体制をとっています。 子ども達の就学する小学校も10校と多いため、それぞれの小学校教諭に来園してもらい、保育体験をしてもらっています。また、小学校の授業参観に園側からも参加し、その後教諭たちと懇親会を持つなど綿密な連絡体制を組んでいます。 近隣住民、民生委員等を行事に招待し園の理解を深める努力をしています。 多くの子ども達が近隣ではなく少し離れた地域から通っていることを考慮し、卒園後の子どもたちの校区(10箇所)の小学校の近隣住民等にも行事への参加を促し、園への理解を求めて行くこととらによいでしょう。

運営上の透明性の確保と継続性

中項目	評価	
理念や基本方針、中・長期計画の策定及び職員や利用者への周知	a	<ul style="list-style-type: none"> 保育課程は保育理念「地域も含めた子どもたちの成長や家庭への援助を行い、成長の喜びを共感していく」(要約)や基本方針「子どもがいきいきと遊び、安心して預けられる、地域に開かれた保育園」(要約)を基本におき、地域の実態や保護者との連携を深めることを考慮し作成しています。 保育課程の作成については、各年齢会議で意見を出し合い、リーダー会議で調整し、全体会で確認しており、職員全員で作成しました。保護者への説明は保育計画として前年度版を4月の保育説明会で方針や目標、保育内容について分かりやすく説明しています。 明文化された理念、方針は園の入り口に見やすく掲載してあります。また、園庭開放(スーパーキッズ)に参加の外部の人たちにも園の案内を渡し、理念・方針を理解してもらう努力をしています。 8月に策定した保育課程についての保護者への説明は行われておらず、次年度には、新たに保育課程についても説明することが期待されます。
情報開示への取り組み	a	<ul style="list-style-type: none"> 普段の子ども達の姿がよくわかるように、その日に活動した写真がその日のうちに掲示されています。お迎えの保護者が日ごとの情報として受け取り、又これを話題にするなど、クラス担当と情報交換にも役立っています。 園便りなどの情報誌は良く工夫され保護者に対しても情報の共有に役立っています。 園の外側の2箇所の掲示板を十分に活用し、地域に向けて園の様子や行事など自園の活動内容を掲示すると良いでしょう。
経営改善への取り組み	a	<ul style="list-style-type: none"> 各種会議(全体会議、リーダー会議、フリー会議、各プロジェクト等)の中で課題やテーマを自由に述べ話し合いがされています。 一人ひとりの職員に対しては年度末に園の方針や運営全般に関するアンケートを実施し、面接による課題把握を行っています。 各行事毎に保護者アンケートや意見箱「何でもボックス」から保護者の意見を把握し、次回への参考資料としています。 今後保護者に対して、行事ごとのアンケートのほかに運営に関するアンケートも行い運営に生かすことが望まれます。

職員の資質の向上

中項目	評価	
職員の資質向上に向けた研修の充実	a	<ul style="list-style-type: none"> 各種定例会のみならず幼児会議、乳児会議それぞれ月に1回の会議には用務、看護師、栄養士も加わり、保育の質の向上や改善に向けて討議をしています。 研修計画に則り、個々の職員が専門性を高める研修に参加できるようにしています。保育課程の策定にあたって職員同士で学びあったり、園内プロジェクトの中で学習するなど知識や技術を高めています。また、多くの職員は、自主的意欲的に自らの研修ニーズを探り自己研修をしています。
職員の処遇・就業環境への配慮	a	<ul style="list-style-type: none"> 川崎市人材育成基本計画に基づき、職員採用や人材育成を計画的に行っています。年3回行われる人事評価シートに伴う面接で、職員の処遇や就業環境についての要望や提案を把握しています。更にプラスして園独自のアンケートを作成し、年度末に園長面談にて満足度・不安や要望・提案等を聞きとっています。
職員の参加によるサービス内容の点検・評価	a	<ul style="list-style-type: none"> 各種定例会のみならず幼児会議、乳児会議それぞれ月に1回の会議には用務、看護師、栄養士も加わり、保育の質の向上や改善に向けて討議をしています。 園が年度に目標とした保育などの園全体の内容について自己評価する仕組みが出来上がっていません。職員の参加により保育内容など園全体の取り組みを点検・評価する仕組みを作ることを期待します。

サービスの実施内容

中項目	評価	
健康管理・食事	a	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新型インフルエンザなど感染症が発生した時は、掲示板に発生状況、近隣の状況、感染予防の実施内容などについて掲示し、保護者に注意を呼びかけています。「ほげんだより」や「お知らせ」で感染症の予防策や発生状況について記載し、保護者へ周知を図っています。 ・ 看護師作成の「要観察児状況一覧表」、「健康記録表」、健診結果や身体測定等が記載されている「すこやか手帳」、保健日誌などをもとに、一人ひとりの子どもの健康面での特徴を全職員で周知しています。また、その日の一人ひとりの子どもの健康状況を朝の受け入れや看護師の視診で把握し、状況に配慮した保育を行なっています。 ・ 保護者と連携を密にし、栄養士が毎朝のミーティングで保護者と調整した献立に合わせた除去食を伝達し、間違いのないよう確認しています。食事時のすわる場所の工夫や、除去食のない時でも決まったトレイを使い誤食のないように徹底した配慮を行なっています。 ・ 食材は「地産地消」の考え方から、近隣商店から新鮮なものを購入しています。献立は季節の食材を取り入れた川崎市作成のメニューですが、年4回伝統行事である「ひな祭り」等に会食デーを行い、独自のメニューに変えて楽しい料理を提供しています。 ・ 病後、回復期の登園児に対し、保育士、看護師、栄養士が連携し、子どもの健康状況や年齢、月齢に合わせた配慮食等を提供しています。また、子どもの食事状況などを連絡しあう健康連絡カードや食事チェック表により、ご飯をお粥や軟食にするなど家庭との連携を図っています。 ・ 乳児期は、生活の連続性の観点から家庭との詳細な情報を交換し合う連絡帳や送迎時の連絡を行い、一人ひとりの子どもの状況を把握しています。保育士、看護師、栄養士が連携し、離乳食ノート(計画表)を作成し、子どもの健康状況や年齢、月齢に合わせた食事を提供しています。 ・ ランチルームを設定し、配膳や食事のマナー、子ども自身の片付けなど、工夫して取り組んでいますが、動線の工夫やテーブルに花を飾るなど、落ち着いた雰囲気を出す工夫があるとさらに良いでしょう。
保育内容	a	<ul style="list-style-type: none"> ・ わかりやすい温かみのある言葉で接するためには、乳児の場合、例えばオムツを交換する時、「換える時間だ」という気持ちではなく、「チッチ出てるかな」と語りかける気持ちで接すると、自ずから温かみのあるわかりやすい言葉になります。幼児では子どもの気持ちを汲み取って、簡潔に話すとわかりやすい温かみのある言葉になります。そのような気持ちで接するようにしています。 ・ 基本的な生活習慣は、子どもがやりたい時期にゆったり見守りながら、満足できるまで自分でできるようにして、出来ないところを介助して満足感を持てるよう配慮しています。 ・ 季節に応じた行事として、夏祭り、七夕、餅つき、獅子舞、節分、ひな祭りなどがあります。節分は年長クラスが鬼のはりこの面を作り、乳児のクラスに何人かずつ入り、乳児が豆を投げてぶつけると痛そうに逃げ回ったりします。子どもの発達に応じた行事としては、運動会で各年齢に応じた日頃の運動遊びの成果を披露しています。例えばかけっこは、3歳は直線を走る、4歳はカーブを走る、5歳はバトンを持ってリレーにする、というように、発達に応じた遊びを行事に取り入れています。 ・ 園では金魚と亀を飼っており、年長児クラスの当番がえさをあげ世話をします。ザリガニを年長児クラスで飼い、脱皮を見て絵にしました。また1匹ずつ死んでいくのを見たり、セミが羽化する現場を見て興奮したり、そのような経験から皆で生命について話し合ったりしました。また、米作りを田植えから収穫まで経験しました。子どもたちは、稲がカラスやスズメなどに食べられないように大事に守り、収穫後、稲穂のワラはよって編んで縄跳びの縄を作り、米は丁寧に籾殻をとり、収穫した玄米を白米に入れて炊いて、おにぎりにしました。そのような経験の中で、命の大切さや思いやりの心が育つように配慮しています。
多様な子育てニーズへの対応	a	<ul style="list-style-type: none"> ・ 乳児保育、延長保育、障害児保育、保育ママとの連携保育を実施しています。連携保育では保育ママが子ども達を連れて園を訪問し、日ごろから子ども同士が顔見知りになるよう交流を図っています。保育ママの急用の際や休暇日等に、園で保育することが出来るよう対応可能な体制を整えています。 ・ 延長保育は、なるべく小さなグループで落ち着いて過ごせるよう、家庭的な雰囲気を大事にしています。おもちゃの種類や数については、保育士が手作りするなど努力がなされています。予算面で難しい点がありますが、市販品などの購入もあるとよいでしょう。
地域の子育て支援	a	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の子育て支援に向けての取り組みとしては、身体測定及び絵本の読み聞かせ、絵本の貸し出し、保育相談が行われており、記録は「地域子育て支援・相談・問い合わせについての記録」として整理しています。 ・ 園独自の子育て支援事業として「スーパーキッズ」(園庭解放・保育相談・身体測定・絵本貸し出し等事業)、区保健福祉センター、主任児童委員等と協働事業の「フリースペース」、地区保育園の園長会による「ほっとほっとサロン」を実施し、掲示板や郵便局、文化センター、弁当屋など地域の各所にチラシを置いてあります。 ・ 保健福祉センター、民生委員、主任児童委員と連携し、地域の親子が遊んだり、相談したり出来るフリースペースを保育園のホールを利用して毎月1回開催しています。

『川崎市福祉サービス第三者評価事業』保育所評価 利用者(保護者)アンケート集計結果
 調査対象保育所 川崎市立河原町保育園

結果の特徴

1 概況

1. アンケート送付数(対象者数)	175名	
2. 回収率	59%	103名

お子さんは何歳児クラスですか。(は1つだけ)

0歳児	10.7%	11名
1歳児	17.5%	18名
2歳児	24.3%	25名
3歳児	16.5%	17名
4歳児	21.4%	22名
5歳児	6.8%	7名
無回答	2.9%	3名

調査結果

園の運営方針について

1 理念・方針について

1)園の保育理念や方針について説明を受けていますか。

はい	85.4%	88名
いいえ	4.9%	5名
どちらともいえない	8.7%	9名
無回答	1.0%	1名

2)保育内容や方法についての説明は受けていますか。

はい	89.3%	92名
いいえ	1.9%	2名
どちらともいえない	7.8%	8名
無回答	1.0%	1名

2 地域住民等との交流

1)園では地域住民との交流活動を行なっていることをご存知でしたか。

はい	87.4%	90名
いいえ	4.9%	5名
どちらともいえない	7.8%	8名
無回答	0.0%	名

2)地域と園の交流は、積極的に行なわれていると感じられていますか。

はい	53.4%	55名
いいえ	4.9%	5名
どちらともいえない	40.8%	42名
無回答	1.0%	1名

施設的环境について

3 施設環境について

1)園内(園庭などの屋外を含む)は、清潔・安全が保たれていると感じられていますか。

はい	55.3%	57名
いいえ	10.7%	11名
どちらともいえない	32.0%	33名
無回答	1.9%	2名

2)保育室は、整理・整頓されていると感じられていますか。

はい	77.7%	80名
いいえ	4.9%	5名
どちらともいえない	14.6%	15名
無回答	2.9%	3名

3)お子さんが生活する保育室は、楽しく、また落ち着いて過ごせる雰囲気になっていると感じられていますか。

はい	74.8%	77名
いいえ	2.9%	3名
どちらともいえない	20.4%	21名
無回答	1.9%	2名

保育内容

4 保育について

1)保育内容や方法は、あなたのお子さんに合っていますか。

はい	73.8%	76名
いいえ	1.0%	1名
どちらともいえない	23.3%	24名
無回答	1.9%	2名

2)園の保育について、あなたの意見や意向を伝えることができますか。

はい	62.1%	64名
いいえ	8.7%	9名
どちらともいえない	27.2%	28名
無回答	1.9%	2名

3)送迎時に保育士との話や連絡帳などを通じ、園や家庭での子供の様子について情報交換がなされていますか。

はい	76.7%	79名
いいえ	7.8%	8名
どちらともいえない	13.6%	14名
無回答	1.9%	2名

4)お子さんたちが戸外に出る機会は十分だと思いますか。

はい	93.2%	96名
いいえ	0.0%	名
どちらともいえない	4.9%	5名
無回答	1.9%	2名

5)園で行う活動・遊びに、お子さんたちの個性が活かされていますか。

はい	60.2%	62名
いいえ	2.9%	3名
どちらともいえない	34.0%	35名
無回答	2.9%	3名

6)クラス担任が不在でも、他の保育士等が日中のお子さんの様子を話してくれますか。

はい	51.5%	53名
いいえ	18.4%	19名
どちらともいえない	28.2%	29名
無回答	1.9%	2名

7)お子さんは保育園に行きたがらないことがありますか。

はい	69.9%	72名
いいえ	3.9%	4名
どちらともいえない	25.2%	26名
無回答	1.0%	1名

8) お子さんは、運動会や生活発表会などの各種行事(練習過程を含む)に、楽しんで参加していますか。

はい	87.4%	90名
いいえ	0.0%	名
どちらともいえない	10.7%	11名
無回答	1.9%	2名

5 給食について

1) 献立表は公開されていることをご存知ですか。

はい	98.1%	101名
いいえ	1.0%	1名
どちらともいえない	0.0%	名
無回答	1.0%	1名

2) 毎日の食事やおやつのサンプルが、園内の見やすいところ展示されています。

はい	99.0%	102名
いいえ	0.0%	名
どちらともいえない	0.0%	名
無回答	1.0%	1名

3) お子さんの給食の食べ具合は、必要に応じて連絡されていますか。

はい	73.8%	76名
いいえ	13.6%	14名
どちらともいえない	11.7%	12名
無回答	1.0%	1名

4) 献立の内容は季節感が盛り込まれていると思いますか。

はい	93.2%	96名
いいえ	1.9%	2名
どちらともいえない	3.9%	4名
無回答	0.0%	名

5) 子供たちが落ち着いて、楽しく食事ができるよう工夫されていると思います。

はい	70.9%	73名
いいえ	3.9%	4名
どちらともいえない	24.3%	25名
無回答	1.0%	1名

6)調理担当者と子どものコミュニケーションを図る工夫がされていると思います。

はい	54.4%	56名
いいえ	4.9%	5名
どちらともいえない	39.8%	41名
無回答	1.0%	1名

安全管理について

6 病気やけがの対応について

1)園でお子さんが病気や事故などにあつた場合、園がどのように対応するのか、事前に説明を受けていますか。

はい	78.6%	81名
いいえ	7.8%	8名
どちらともいえない	8.7%	9名
無回答	4.9%	5名

2)園でお子さんが病気や事故などにあつた場合、適切な対応がとられています。

はい	78.6%	81名
いいえ	1.0%	1名
どちらともいえない	16.5%	17名
無回答	3.9%	4名

保護者と園との関係について

7 保護者と園との関係について

1)保育園やクラスの様子などについて、「園だより」「クラスだより」等を通じて、わかりやすく伝えられていますか。

はい	88.3%	91名
いいえ	1.0%	1名
どちらともいえない	6.8%	7名
無回答	3.9%	4名

2)園行事は、曜日に配慮するなど、家族の方が参加しやすいように開催されていますか。

はい	81.6%	84名
いいえ	2.9%	3名
どちらともいえない	9.7%	10名
無回答	5.8%	6名

3)健康診断の結果について、園から伝えられていますか。

はい	86.4%	89名
いいえ	2.9%	3名
どちらともいえない	6.8%	7名
無回答	3.9%	4名

4)園や家庭でのお子さんの様子などについて、個別に面談が行われています。

はい	65.0%	67名
いいえ	13.6%	14名
どちらともいえない	17.5%	18名
無回答	3.9%	4名

5)子育てに関する気がかりな点や悩みについて、気軽に個別に相談できますか。

はい	63.1%	65名
いいえ	8.7%	9名
どちらともいえない	24.3%	25名
無回答	3.9%	4名

事業者からの意見

受審に先駆けて、第三者評価を受けることの意義、特に、見直す部分・欠けている部分に視点が行きがちだが、この機会に河原町保育園の特徴・アピールできる保育を再確認することに重点を置いて取り組むことを正規・非常勤・臨時職員全員で確認した。リーダー会が中心となり、職員全員の自己評価をまとめ、1項目ごとに丁寧に具体的にアピール点を挙げ、又、評価点の低い項目について点検・見直しを行い、すぐに実践に結び付けられるよう検討を重ねた。大規模保育園のため、職員全体の共通認識を図ることに多くの時間と工夫を要したが、リーダー会を中心に、各学年、乳幼各フロアー、そして全体職員会議など重ねてきた。その中で、河原町保育園で大切にしている保育、アピール点はどこなのか、また、足りない点、見直しが必要な点も含め、全職員が共通認識を持つことが出来、大変有意義な取り組みが出来た。

受審当日は、評価されて新たな気づきがあったり、指摘されて見直しが必要な点があったりして今後の取り組みの指標となることができた。又、大切にしてきた保育やアピール点などを評価してもらったことで、職員に自信が生まれ、新たな意欲につながった。

今後も、指摘事項や、保護者アンケートの結果も視野に入れ、より豊かな保育実践やコミュニケーションを大切に保護者支援に繋がるよう、職員の共通認識を大切に検討を重ねていきたい。

川崎市立河原町保育園
福祉サービス第三者評価報告書

平成 22 年 3 月 31 日 作成

福祉サービス第三者評価機関
株式会社コモンズ 2 1 研究所

〒235-0007 横浜市磯子区西町 14-3-207
県公社根岸駅前共同ビル
電話 045(752)0211 FAX 045(752)0242